

# アクションプラン 検証シート (2021 年度実績)

項目番号 1-(1)-(ア)	具体的な取組	防災マップを作り、災害に備えよう！	担当課	地域起こし推進課												
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え																
事業目的・内容 居住する地区における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、洪水や高潮による浸水想定区域、避難経路及び避難場所を正しく理解し、災害時に的確な避難行動を行えるよう、地域独自の情報を掲載した防災マップの作成を支援する。																
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。																
○指標 防災マップを作成した町内会数			○目標値の考え方 2019年度末までに、全小学校区で学区全体の防災マップを作成し、さらに196町内会中121の町内会の防災マップを作成する予定としている。今後は、未作成である75町内会のうち、現在作成に向けて取り組んでいる18町内会については2020年度末までの作成を目標とし、それ以外の57町内会については、5年ごとに行われる土砂災害警戒区域等の更新の時期（2021～2023年度で実施予定）に合わせた作成を目標とする。													
○目標値と進捗状況																
年度	2020 実績	2021														
		目標値	実績	進捗率												
年度毎の 目標値	135 町内会 /196 町内会	155 町内会 /196 町内会	149 町内会 /196 町内会	82%												
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">進捗率算出（積み上げ式）</td> <td style="text-align: center;">※2019 実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">149</td> <td style="text-align: center;">- 121 ※</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">-----</td> <td style="text-align: center;">=</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">155</td> <td style="text-align: center;">- 121 ※</td> <td style="text-align: center;">34</td> </tr> </table>					進捗率算出（積み上げ式）		※2019 実績値	149	- 121 ※	28	-----		=	155	- 121 ※	34
進捗率算出（積み上げ式）		※2019 実績値														
149	- 121 ※	28														
-----		=														
155	- 121 ※	34														
○2021 年度の取組内容等 作成を目指した20町内会（東浄地区16町内会、未作成4町内会）と協議を行い、14町内会は作成・配付した。残りの6町内会は、学区全体版で的確な避難行動が行える等の理由で作成に至らなかった。  (参考)「地区別防災マップの作成状況」は次ページに記載																
○2022 年度の目標値と取組方針等																
目標値	取組方針等															
178 町内会 /196 町内会	当初計画の23町内会（戸坂地区9町内会、牛田新町地区9町内会、早稲田地区5町内会）の防災マップの作成支援（勉強会の開催、アドバイザーの派遣、マップ印刷）を行う。 また、これまで作成に至らなかった6町内会に対し、引き続き意向を確認していく。															
○取組上の課題等 町内会の防災マップ作成に当たり、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、防災士又は区役所職員が、まち歩きや会議など防災マップ作成のための支援を行う。																
○備考																

(参考)

地区別防災マップの作成状況

(単位：町内会)

地区名	町内 会数	2019 年度 実績	2020 年度 実績	2021 年度実績			2022 年度 計画	2023 年度 計画
				目標値 (A)	作成数 (B)	未作成数 (A-B)		
福 田	18	18	-	-	-	-	-	-
馬 木	18	-	-	-	-	-	-	18
上 温 品	16	16	-	-	-	-	-	-
温 品	25	25	-	-	-	-	-	-
東 浄	16	-	-	16	14	2	→ 2	-
戸坂城山	8	1	5	2	0	2	→ 2	-
戸 坂	9	-	-	-	-	-	9	-
牛田新町	9	-	-	-	-	-	9	-
牛 田	22	22	-	-	-	-	-	-
早 稲 田	5	-	-	-	-	-	5	-
中 山	22	22	-	-	-	-	-	-
尾 長	19	16	2	1	0	1	→ 1	-
矢 賀	9	1	7	1	0	1	→ 1	-
計	196	121	14	20	14	6	29	18
累計	-	121	135	149			178	196

※ 東浄地区 1 町内会（鈴ヶ台）及び矢賀地区（パークハウス東山）は、作成に向けて調整中

※ 東浄地区 1 町内会（中山台）、戸坂城山地区 2 町内会（戸坂大上四丁目、戸坂百田親和会）及び尾長地区 1 町内会（上大須賀町）は、今年度、町内会長に改めて作成の意向を確認したところ、学区全体版の防災マップでの確な避難行動が行えるということで、作成に至っていない。

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(1)-(イ)	具体的な取組	「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 「自分の命は自分で守る」という自助の意識向上を図るとともに、「共助」の重要性を理解することを目的とし、学区自主防災会連合会、消防団及び区役所等が連携し、住民が災害から身を守るための行動や、自主防災組織等が指定避難所で取るべき行動の確認を行う防災訓練を実施する。				
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災訓練を実施した地区数			○目標値の考え方 新型コロナウイルス感染症が拡大するまでは「二葉」「福木・温品」「戸坂」「牛田・早稲田」の4つのエリアにおいて、各エリア1学区以上で訓練を実施していた。今後も、同様な形で訓練を継続する。	
○目標値と進捗状況				
	2020 実績	2021		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の目標値	1地区/年	4地区/年	3地区/年	75%
○2021 年度の実績内容等 4つのエリアの学区自主防災会長等と防災訓練の実施に向けた協議を行い、全エリアで1回以上の防災訓練を行うように調整を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、戸坂エリアについては実施に至らなかったが、3つのエリア（二葉、福木・温品、牛田・早稲田）については、防災訓練を実施した。 (参考)				
区分	学区	月日	開催場所	備考
牛田・早稲田エリア	早稲田	7月31日(土)	早稲田公民館 早稲田集会所	避難所運営訓練を実施
二葉エリア	尾長	11月20日(土)	尾長小学校	避難所運営訓練を実施
戸坂エリア	中止	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
福木・温品エリア	温品	3月27日(日)	温品小学校	避難所運営訓練（東区防災訓練）を実施
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4地区/年	二葉エリア・・・尾長小学校で5月22日に防災訓練を開催 福木・温品エリア・・・上温品小学校で10月16日に東区防災訓練を開催予定 戸坂エリア・・・開催に向けて協議する。 牛田・早稲田エリア・・・早稲田集会所等で6月11日に防災訓練を開催			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、防災訓練を計画どおり実施できなかったことから、時間の短縮や規模を縮小するなど内容を見直すなど、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、実施に向けて自主防災組織等と協議していく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2021 年度実績)

項目番号 1-(2) 2-(4)-(エ)	具体的 な取組	要支援者を地域で支えよう！	担当課	地域起こし推進課 地域支えあい課												
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (2) 避難行動要支援者への支援																
事業目的・内容 災害時に一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が、安全かつ確実に避難することを目的とし、町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会へ対象者の名簿を提供し、対象者一人ひとりについて避難に必要な具体的な事項を整理した計画（個別計画）の作成支援を行う。																
○課題と対応 要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。																
○指標 対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別計画を作成した地区数			○目標値の考え方 2019 年度までに4地区(東浄・上温品・温品・福田)で作成している。2020 年度の名簿提供時から、作成した個別計画数を報告していただくこととし、1 年度あたり 2 地区(2024 年度は1 地区)での作成を目標とする。													
○目標値と進捗状況																
年度	2020 実績	2021														
		目標値	実績	進捗率												
年度毎の 目標値	6 /13 地区	8 /13 地区	13 /13 地区	225%												
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">進捗率算出（積み上げ式）</td> <td style="text-align: center;">※2019 実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">- 4 ※</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">- 4 ※</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">-----</td> <td style="text-align: center;">=</td> </tr> </table>					進捗率算出（積み上げ式）		※2019 実績値	13	- 4 ※	9	8	- 4 ※	4	-----		=
進捗率算出（積み上げ式）		※2019 実績値														
13	- 4 ※	9														
8	- 4 ※	4														
-----		=														
○2021 年度 of 取組内容等 避難行動要支援者で、個人情報の外部提供に同意された人の名簿（同意者リスト）に掲載された 1,119 人のうち、災害危険区域に居住し、避難時に支援の必要があるかどうかの把握ができていない 217 人について、学区自主防災会連合会や民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等の協力を得て調査を行い、避難支援者がいない人と判明した 43 人を重点的に個別避難計画の作成を支援した。 その結果、16 人の個別避難計画の作成支援を行い、未作成であった 7 地区(戸坂、戸坂城山、牛田新町、牛田、早稲田、中山、尾長)すべてで個別避難計画を作成した。 (参考)「2021 年度の個別避難計画の作成状況」は次ページに記載																
○2022 年度の目標値と取組方針																
目標値	取組方針等															
10 /13 地区	引き続き、地域の自主防災組織や民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等と連携し、個別避難計画の作成支援を行う。															
○取組上の課題等 2022 年度についても、同意者リストの更新が行われることから、2021 年度と同様に、同意者リストの「避難支援者がいない」「実態不明」について、改めて実態調査を行い、地域と連携して個別避難計画の作成支援を行う。																
○備考																

## (参考) 2021 年度の個別避難計画の作成状況

地区名	同意者リスト				東区独自の実態調査			単位：人
	要支援者数	危険区域外	家族等の支援が可能	実態不明	居住なし 又は 4階以上に居住	避難支援者がいる	避難支援者がいない	個別避難計画作成数
福田	59	30	21	8	1	7	0	2021 年度 0
馬木	68	22	26	20	0	17	3	0
上温品	49	18	24	7	0	7	0	1
温品	72	46	19	7	0	4	3	2
戸坂	163	52	57	54	9	35	10	3
戸坂城山	52	12	27	13	1	10	2	1
東浄	83	38	29	16	3	12	1	1
牛田新町	52	24	22	6	2	2	2	1
牛田	119	56	41	22	3	15	4	2
早稲田	38	10	18	10	0	8	2	2
中山	70	40	24	6	0	5	1	1
尾長	225	118	74	33	6	19	8	2
矢賀	69	29	25	15	1	7	7	0
計	1,119	495	407	217	26	148	43	16

※ アミ掛けは2020年度までに個別避難計画を作成した地区（6地区）

2021年度は、未作成であった7地区すべてで個別避難計画を作成した。

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(3)-(ア)	具体的な取組	次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化				
事業目的・内容 各種地域団体が抱えている、役員の高齢化や担い手不足など、地域コミュニティの活力低下が顕在化しているため、その課題解決に向けて、令和2年度から年1回「地域コミュニティの活性化」をテーマとした講演会を開催する。				
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。				
○指標 講演会の参加者数			○目標値の考え方 東区民文化センター大ホールで講演会を実施する想定として、毎年度500人の参加を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	0人	500人	240人 〔 YouTube 145回視聴 〕	77%
○2021 年度の取組内容等 12月4日に開催した東区コミュニティ交流協議会東区民大会において、これまでの内容（講演会）を見直し、地域コミュニティの活性化につながる活動をしている2団体（牛田学区社会福祉協議会、東地区保護司会）の活動発表を行った。また、新型コロナウイルス感染症防止対策として、参加人数を東区民文化センターホールの定員の約半分に制限して開催した。 なお、3月に大会の内容を分かりやすく伝える動画「自分たちのまちは自分たちで創る～東区のコミュニティ活動～」を広島市公式 YouTube チャンネルで配信するとともに、コミ協構成団体へ動画のDVDを配布した。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
500人	2021年度同様、地域活動の参考になる講演や頑張っている団体の活動発表の場とし、好事例を知ってもらうことで、団体同士の連携や新たな活動に向けての活力につなげる。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催する。また、より多くの方に視聴してもらえるよう、YouTubeによる動画配信を行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(3)-(イ)	具体的な取組	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金」	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化				
事業目的・内容 平成 27 年度から住宅団地の活性化を目的に制度が創設され、平成 29 年度からは全市域に対象エリアを拡大し、町内会、地区社会福祉協議会、子ども会が新たに行う地域コミュニティの活性化のための主体的・継続的な取組に補助金を交付している。				
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去5年間の新規申請件数の平均が2件であるため、毎年度2件以上を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3 件 /年	2 件以上 /年	4 件 /年	200%
○2021 年度の取組内容等 1 次募集での新規申請は2件あり、2次募集に向けて地区社会福祉協議会への手引き等の案内の送付や、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなどして制度を周知した。その結果、新規申請が2件あり、今年度実績は4件となった。				
団体名（補助額）	事業内容			
上温品地区社会福祉協議会 (10万円) ※	地域の桜の名所を会場とし、子どもたちの思い出作り、地域交流の取組として「上温品ちびっこ桜まつり」を開催する。			
馬木地区社会福祉協議会 (10万円)	地域資源であるニヶ城山での山歩きを促進するため、マップの作成や登山道の整備、ハイキングイベントの開催等を行う。			
牛田東四丁目町内会 (50万円)	町内会区域内の空き家を、地域住民が無償で利用できる新たな集会拠点として改修し、町内会活動や高齢者サロンなどを開催する。			
中山台町内会 (10万円)	幅広い世代で構成された「三世代交流クラブ」を立ち上げ、町内のイベント企画・運営を行うなど、若い世代の地域活動参加を促進する。			
※新型コロナの影響により事業を中止し、2022 年度に再度新規申請があった。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2 件以上 /年	「市民と市政」や Facebook を通じて既存団体の活動を広報紙、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。			
○取組上の課題等 引き続き地区社会福祉協議会や団体長に向けてのチラシや案内の送付や、「市民と市政」、公民館だよりに紹介記事を掲載するなどして、新規申請の掘り起こしを行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2021 年度実績)

項目番号 1-(4)-(ア)	具体的な取組 地域の安全は地域で守ろう!		担当課 地域起こし推進課	
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、平成 26 年度から町内会が道路等の公共空間に防犯カメラの設置する場合、補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数			○目標値の考え方 2014 年度からの 6 年間における設置台数の平均が約 5 台/年であることから、年間 5 台以上の設置を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3 台 /年	5 台以上 /年	6 台 /年	120%
○2021 年度の実績等 4 団体より申請があり、計 6 台の設置を支援した。 また、6 月 29 日開催の東区コミュニティ交流協議会総会や、追加募集 (9 月 1 日~10 月 15 日) の際、未設置地区に当該補助制度を積極的に活用するよう呼び掛けた。 (参考) 広島市地域防犯カメラ設置補助制度による防犯カメラ設置状況				
地 区	~2020 年度	2021 年度		計
		6 月募集	追加募集	
福 田	3 台	2 台	-	5 台
馬 木	9 台	-	-	9 台
上 温 品	1 台	-	2 台	3 台
温 品	1 台	-	-	1 台
東 浄	-	-	-	-
戸坂城山	-	-	-	-
戸 坂	1 台	-	-	1 台
牛田新町	-	-	-	-
牛 田	9 台	-	-	9 台
早 稲 田	-	-	-	-
中 山	2 台	-	-	2 台
尾 長	9 台	2 台	-	11 台
矢 賀	-	-	-	-
計	35 台	4 台	2 台	41 台
		6 台		
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5 台以上 /年	地区によって設置台数に偏りがあることについて周知を行い、年間 5 台以上の設置を支援する。			
○取組上の課題等 未設置地区に対して当該補助金を積極的に活用するよう呼び掛けていく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(4)-(イ)	具体的な取組	防犯灯でまちを明るくしよう！	担当課	維持管理課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりを進めるため、犯罪の抑止力になる防犯灯を区役所が設置するほか、町内会が独自に設置する場合についても、昭和 37 年度から補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯灯の新規設置か所数			○目標値の考え方 過去3年間の平均で、区役所が新規設置する防犯灯が 15 か所、町内会が市からの補助を受けて新規設置する防犯灯が5か所のため、毎年度 20 か所の新規設置を目標に取り組む。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	18 か所 /年	20 か所 /年	26 か所 /年	130%
○2021 年度の実績内容等 新規要望のあった 21 か所については全て設置を完了した。また、市からの補助を受けて町内会が新設する防犯灯も 5 か所設置され、合計 26 か所となった。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
20 か所 /年	町内会から防犯灯設置についての要望や「街路灯維持補修費補助金申請」の受付時など、市による防犯灯の新設の要望又は町内会による防犯灯の新規設置補助等の相談があれば、対応の是非を判断した上で、可能であれば積極的に対応していく。			
○取組上の課題等 防犯灯の新設については、東区役所（維持管理課）で工事を施行することができないため、要望を受けてから設置するまでかなりの時間を要している。 また、本庁（都市整備局設備課）も複数区を取りまとめた上で工事発注するため、事務処理等に時間を要している。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 1-(5)	具体的な取組	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (5) 交通事故のない安全なまちづくり				
事業目的・内容 交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため、交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、学校、警察等と連携して、年間に交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催し、事故のない安全なまちづくりを推進する。				
○課題と対応 交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。				
○指標 交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数			○目標値の考え方 年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催していることから、年間6回以上の開催数とする	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	0回 /年	6回以上 /年	3回 /年	50%
○2021 年度の実績内容等 交通安全運動街頭キャンペーンは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、春及び秋は中止したが、人数制限等の感染対策を行い、夏及び年末は実施した。 また、自転車交通マナー教室は、6月に開催する計画であった第1回は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から中止したが、2月に開催する計画であった第2回は、広島朝鮮初中高級学校からの実施要望もあり、実施時期を前倒して12月20日に実施した。 交通運動期間中は、街頭キャンペーンの実施の有無に関わらず、区役所ロビー展、のぼり旗の掲示及び東区 Facebook 等により啓発を行った。				
(参考) 交通安全運動街頭キャンペーン等の開催状況				
区 分	計 画		実 績	
			月日	場 所
交通安全街頭キャンペーン	春	4月	中止	—
	夏	7月	7月12日	広島駅北口周辺
	秋	9月	中止	—
	年末	12月	12月1日	イオンモール広島府中
自転車交通マナー教室	第1回	6月	中止	—
	第2回	2月	12月20日	広島朝鮮初中高級学校
計	6回		3回	
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6回以上 /年	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催する。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、開催に向けた協議を行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2021 年度実績)

項目番号 2-(1)-(ア)	具体的な 取組	認知症サポーターになろう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症に関する正しい知識を有し、認知症の人やその家族のよき理解者となる認知症サポーターを増やし、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、平成 18 年度から、区民や地域団体・事業所等を対象とし、地域住民の要請等に基づき、地域包括支援センター等が企画して、認知症サポーター養成講座を開催している。 これに加え、東区では、若い世代から認知症を知り理解を深めることが重要であるため、小中高等学校の児童生徒や大学生を対象とした講座を年 1 回、各学校において開催している。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症サポーター養成講座の実施校数			○目標値の考え方 2019 年度の実績として小学校 1 校、私学の中高一貫校 1 校が未実施のため、2020 年度までに小中高大全ての学校での実施を目標とする。その後も全ての小中高大の学校での実施を継続するとともに、特別支援校等の実施を検討する。	
○目標値と進捗状況				
	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	9 校 小学校 2/12 中学校 4/6 高等学校 2/5 大学 1/2	25 校 小学校 12/12 中学校 6/6 高等学校 5/5 大学 2/2	12 校 小学校 5/12 中学校 5/6 高等学校 0/5 大学 2/2	48%
○2021 年度の取組内容等				
区分	実施校			
小学校	牛田新町小学校、矢賀小学校、戸坂小学校、尾長小学校、戸坂城山小学校			
中学校	早稲田中学校、二葉中学校、牛田中学校、戸坂中学校、温品中学校			
高等学校	—			
大学	広島女学院大学、比治山大学			
新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施した。 学校以外でも、8月に東区地域女性団体連合会と共催で講座を開催した。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
25 校 小学校 12/12、中学校 6/6 高等学校 5/5、大学 2/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、各小中高等学校及び大学の実状に応じた開催方法を検討する。</li> </ul>			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、開催に向けた協議を行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 2-(1)-(イ)	具体的 な取組	認知症支えあいカフェを広めよう！	担当課	地域支えあい課													
<p>まちづくりのテーマ及び項目</p> <p style="margin-left: 20px;">2 みんなで支え合うまちづくり</p> <p style="margin-left: 40px;">(1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応</p>																	
<p>事業目的・内容</p> <p>認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、平成26年度より認知症の人とその家族、地域団体、医師・社会福祉士・保健師等が、概ね月1回程度、地域の集会所や病院などで気軽に集い交流を図る認知症支えあいカフェを開催している。専門職による相談・助言により、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。</p>																	
<p>○課題と対応</p> <p>認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。</p>																	
<p>○指標</p> <p>認知症支えあいカフェの設置地区数</p>			<p>○目標値の考え方</p> <p>2019年度実績が8地区社協エリアであったため、2020年度目標を9地区とし、2024年度までに全地区設置とする。</p>														
<p>○目標値と進捗状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>10/13 地区</td> <td>10/13 地区</td> <td>10/13 地区</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	10/13 地区	10/13 地区	10/13 地区	100%	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: small;">実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値</p> <math display="block">\frac{10 - 8 ※}{10 - 8 ※} = \frac{2}{2}</math> </div>	
年度	2020 実績	2021															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	10/13 地区	10/13 地区	10/13 地区	100%													
<p>○2021 年度の取組内容等</p> <p>2020年度に立ち上げ支援を行った間所支えあいカフェが、7月に開設した。また、「温品きんさいカフェ」の会場である保育園の耐震工事中に場所を提供していた個人宅において、3月に「旭が丘カフェ」が開設した。</p> <p>未設置3地区（矢賀・中山・牛田）に働き掛けを行った結果、中山地区で設置の動きが出てきている。</p> <p>※（参考）地区別の設置状況は次ページに記載</p>																	
<p>○2022 年度の目標値と取組方針等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">11/13 地区</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地域に協力依頼し、未設置地区への働き掛けを行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、休止したカフェの再開に向けた支援を行う。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	11/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地域に協力依頼し、未設置地区への働き掛けを行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、休止したカフェの再開に向けた支援を行う。</li> </ul>									
目標値	取組方針等																
11/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地域に協力依頼し、未設置地区への働き掛けを行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、休止したカフェの再開に向けた支援を行う。</li> </ul>																
<p>○取組上の課題等</p> <p>施設や病院等を会場としているカフェでは、新型コロナウイルスの感染症の影響で会場が使用できない状況がある。関係者で協議を行い、可能な範囲で会場やスタッフの調整を図る等の工夫を行うことで、安全に再開ができるよう支援していく。</p>																	
<p>○備考</p>																	

○ 地区別の設置状況

地区	カフェ名称	実施主体	会場	開始時期
福田	ふくだオレンジカフェ	社会福祉法人 広島常光福祉会 居宅介護支援事業所ふくだの里	福田公民館	2016年10月
馬木	もみじカフェ馬木	馬木住民	メープル馬木1階地 域交流スペース	2019年9月
上温品	認知症カフェぬくぬく	医療法人たかまさ会 山崎病院	山崎病院屋上庭園	2015年5月
温品	温品きんさいカフェ	温品学区社会福祉協議会 有限会社リラックス 認知症サポーターステップアップ 講座修了者	世代間交流施設りら っくす保育園	2020年10月
	【2021年度新規】 間所支えあいカフェ	温品学区社会福祉協議会、広島 銀行(共催) 認知症サポーター養成講座修了 者(認知症サポーターステップア ップ講座修了者含む)	フォレオ広島東店広 島銀行温品支店セミ ナールーム	<u>2021年7月</u>
	【2021年度新規】 旭が丘カフェ	温品学区社会福祉協議会 認知症サポーター養成講座修了 者(認知症サポーターステップア ップ講座修了者含む)	民家	<u>2022年3月</u>
尾長	オレンジカフェ ハッピー ミルク	医療法人社団 ひろまさ会 谷本クリニック併設ミルクケア	ミルクケア1階	2016年4月
	認知症ケア&予防ハート ホーム CAFE	広島主城教会	広島主城教会	2020年2月
早稲田	みち草カフェ	早稲田学区社会福祉協議会	早稲田集会所1階	2020年4月
戸坂	さくらカフェ	戸坂学区社会福祉協議会	桜ヶ丘市営住宅5号 棟1階さくらサロン	2016年11月
	太田川カフェゆう	太田川病院 認知症支援チーム	太田川病院内	2017年10月
戸坂城山	南2丁目にこここカフェ	戸坂城山社会福祉協議会 広島第一病院	広島第一病院地域交 流スペース	2019年7月
東浄	認知症カフェ よりみち	東浄学区社会福祉協議会	民家	2017年7月
牛田新町	牛田新町ローズカフェ	介護老人保健施設牛田バラ苑	牛田新町集会所1階	2018年6月

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 2-(2)	具体的 な取組	いきいき百歳体操に取り組みよう！	担当課	地域支えあい課																												
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進																																
事業目的・内容 誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進めるため、高齢者が気軽に通える身近な地域の集会所等で、いきいき百歳体操等を行う「介護予防拠点」を平成 29 年度から整備している。																																
○課題と対応 介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。																																
○指標 拠点数と参加者数			○目標値の考え方 広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方（2025 年度までに高齢者の 1 割が参加）を踏まえ、2025 年度の東区の高齢者人口約 31,000 人のうち、1 割の 3,100 人の参加を目標とし、拠点数については、1 拠点あたりの参加者数を 20 人として設定している。 なお、2026 年度以降については、次期プランに併せて作成する。																													
○目標値と進捗状況																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>2,276 人 (97 拠点)</td> <td>2,204 人 (110 拠点)</td> <td>2,337 人 (99 拠点)</td> <td>126%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値</td> </tr> <tr> <td>2,337</td> <td>-</td> <td>1,685 ※</td> <td>=</td> <td>652</td> </tr> <tr> <td>2,204</td> <td>-</td> <td>1,685 ※</td> <td>=</td> <td>519</td> </tr> </table>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	2,276 人 (97 拠点)	2,204 人 (110 拠点)	2,337 人 (99 拠点)	126%	進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値					2,337	-	1,685 ※	=	652	2,204	-	1,685 ※	=	519
年度	2020 実績	2021																														
		目標値	実績	進捗率																												
年度毎の 目標値	2,276 人 (97 拠点)	2,204 人 (110 拠点)	2,337 人 (99 拠点)	126%																												
進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値																																
2,337	-	1,685 ※	=	652																												
2,204	-	1,685 ※	=	519																												
○2021 年度の取組内容等 新規拠点として、中山地区で 1 か所（4 月）、戸坂地区（10 月）で 1 か所が開設した。 既存の拠点では、コロナ禍において 1 回当たりの参加者数を減らすため、2 グループに分けて実施する等の工夫をしながら活動を再開した（緊急事態宣言等の期間は全拠点の活動休止）。 各地域包括支援センターでは、グラウンドゴルフやラジオ体操など屋外での活動について情報収集を行うとともに、自宅でもできる体操の推奨、ウォーキングの実施、活動再開に向けた支援（協議）など、工夫して介護予防に取り組んだ。																																
○2022 年度の目標値と取組方針等																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,428 人 (121 拠点)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して活動できるよう、地域包括支援センターと連携して支援していく。</li> <li>• いきいき百歳体操の活動に併せて、多様な介護予防事業につながる取組を支援する。また、地域の良い取組を他の地区へ紹介することで、好事例の横展開を図っていく。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2,428 人 (121 拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して活動できるよう、地域包括支援センターと連携して支援していく。</li> <li>• いきいき百歳体操の活動に併せて、多様な介護予防事業につながる取組を支援する。また、地域の良い取組を他の地区へ紹介することで、好事例の横展開を図っていく。</li> </ul>																								
目標値	取組方針等																															
2,428 人 (121 拠点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して活動できるよう、地域包括支援センターと連携して支援していく。</li> <li>• いきいき百歳体操の活動に併せて、多様な介護予防事業につながる取組を支援する。また、地域の良い取組を他の地区へ紹介することで、好事例の横展開を図っていく。</li> </ul>																															
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大予防のために活動自粛していた高齢者にうつ傾向・フレイル（疾病や加齢に伴う心身機能の低下）の兆候が見られるため、虚弱高齢者を早期に発見し、適切に支援に繋ぐ必要がある。今後は、高齢者の介護予防の活動として、屋内でのいきいき百歳体操だけでなく、屋外でのウォーキング等の多様な取組を支援していく。																																
○備考																																

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 2-③	具体的な取組	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (3) 地域ぐるみの子育て支援				
事業目的・内容 子育て中の親子が地域で孤立しないよう、子育て支援ボランティアや民生委員児童委員が中心となり、月に1回程度、公民館や集会所等で子育て親子が気軽に集い交流できる地域子育てオープンスペースを開催している。				
○課題と対応 子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。				
○指標 地域の子育てオープンスペースの参加者数			○目標値の考え方 2018年度の参加者が2,712人(16か所)であったため、2020年度目標を2,900人とし、毎年度50人増やすこととする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	450人	2,950人	708人	24%
○2021年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、休止となった期間があったが、60回開催し、708人が参加した。 常設オープンスペースは、コロナ禍においても臨床心理士や歯科衛生士等による育児講座や子育て中の親同士が交流できる「オンラインおしゃべり広場」を月3回実施し(38回開催)、320人が参加した。 11月に開催した「子育て支援者連絡会」において、牛田・早稲田学区で週1回開催しているウォーキング活動「早稲田神社まで歩こう！」に、子育て親子も参加していることを紹介した結果、11月～3月の期間1回当たり2.5組(延べ20組)の親子の参加があった。				
○2022年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
3,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者を対象とした子育て支援者連絡会を開催し、地域の子育て支援者の参加者数を増やすため、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で安心して開催できるよう支援する。</li> <li>・地域団体が主催するウォーキング活動に子育て中の親子が参加できるよう調整し、子育て中の親子が安全に交流できる場の拡充を図る。</li> </ul>			
○取組上の課題等 子育てオープンスペースは、新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止せざるを得ない状況にある。コロナ禍でも実施可能な「オンラインおしゃべり広場」は継続実施し、保育アドバイザーによる入園準備や食生活推進リーダーによるお弁当講座等、他区で好評であった内容を参考に充実を図るとともに、ホームページ・Facebook等での発信についても検討する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート (2021 年度実績)

項目番号 2-(4)-(ア)	具体的な取組	「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	担当課	地域支えあい課																														
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組																																		
事業目的・内容 高齢者、子ども、障害者などすべての人々が「住みなれた地域で安心して暮らすことができる」地域共生社会の実現を目指し、平成31年4月に「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を設置し、その取組の一環として、地域団体の活動をまとめた「東区地域支えあいリスト」を作成した。 子育て中の親子や高齢者、障害児・者が地域で通える場所やボランティアバンク等の生活支援の情報を、日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストで掲載している。																																		
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。																																		
○指標 地域支えあいリストの掲載件数			○目標値の考え方 2019年度の掲載件数の296件をベースにして、今後いきいき百歳体操と認知症支えあいカフェの実施団体の増加を年12件～17件見込んでいる。 なお、2026年度以降については、2025年度に作成する。																															
○目標値と進捗状況																																		
年度	2020 実績	2021																																
		目標値	実績	進捗率																														
年度毎の 目標値	326件	325件	345件	169%																														
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">実績進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">345</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">296</td> <td style="text-align: center;">※</td> <td style="text-align: center;">=</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">325</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">296</td> <td style="text-align: center;">※</td> <td style="text-align: center;">=</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td style="text-align: center;">49</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">※2019 実績値</td> </tr> </table>					実績進捗率算出（積み上げ式）					345	-	296	※	=	325	-	296	※	=					49					29	※2019 実績値				
実績進捗率算出（積み上げ式）																																		
345	-	296	※	=																														
325	-	296	※	=																														
				49																														
				29																														
※2019 実績値																																		
○2021年度の取組内容等 5月に、「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」の実務者協議で、地域包括支援センター及び東区社会福祉協議会に、リストデータの更新について依頼した。6月には、地区社会福祉協議会にリストの更新について依頼した。 地域支えあい課においても情報収集を行い、協同労働・有償ボランティア（5件）を新規項目として追加して9月に「東区地域支えあいリスト」が完成し、関係団体への配布及びホームページの更新を行った。																																		
○2022年度の目標値と取組方針等																																		
目標値	取組方針等																																	
352件	・東区支えあいリストの更新及び広報																																	
○取組上の課題等 新規項目として屋外でのグラウンドゴルフ、ラジオ体操、ウォーキング等の掲載を予定しており、引き続き情報収集を行っていく。																																		
○備考 ※2021年度に目標値を上方修正																																		

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 2-(4)-(イ)	具体的な取組	医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	担当課	地域支えあい課																									
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組																													
事業目的・内容 誰もが、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるためには、医療・介護ネットワーク（医療介護関係者）と介護予防・生活支援ネットワーク（地域団体）の有機的な連携を進める必要がある。このため、「認知症支えあいカフェ」への医療介護関係者による支援や、地域団体の研修会等への医療介護関係者による講師派遣等を行う。																													
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。																													
○指標 医療介護関係者と地域団体が連携した地区数			○目標値の考え方 2020 年度から2地区社協エリアで開始し、毎年度2地区増やし、2025 年度 13 地区全ての地区で実施することとする。																										
○目標値と進捗状況																													
年度	2020 実績	2021																											
		目標値	実績	進捗率																									
年度毎の 目標値	5/13 ※ 地区	4/13 地区	9/13 地区	225%																									
※ 上温品地区において実施済であったため4/13 地区から修正																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 年度実績</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">※</td> <td style="text-align: center;">=</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">※</td> <td style="text-align: center;">=</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table>					実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 年度実績					9	-	0	※	=	4	-	0	※	=					9					4
実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 年度実績																													
9	-	0	※	=																									
4	-	0	※	=																									
				9																									
				4																									
○2021 年度の取組内容等 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、いきいき百歳体操を行う高齢者の通いの場6か所に薬剤師を派遣して健康教育を行った。（当初計画していた8か所のうち、2か所はまん延防止等重点措置の適用のため、2022 年度に延期して実施する。） 早稲田地区において立ち上がった「地域防災プラットフォーム」のネットワークに東区医師会から医師が参加し情報交換や意見交換することで、防災や減災のネットワークが構築された。																													
※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載																													
○2022 年度の目標値と取組方針等																													
目標値	取組方針等																												
13/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症支えあいカフェの立ち上げに当たっては、医療介護関係者による支援を行う。</li> <li>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、薬剤師の派遣を8か所（4地区各2か所）、歯科衛生士の派遣を4か所（4地区各1か所）実施する。</li> </ul>																												
○取組上の課題等 地域の通いの場や認知症支えあいカフェについては、新型コロナウイルス感染症の感染状況により中止や再開を繰り返しているため、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で安全に開催できるよう支援するとともに、地域団体と医療介護関係者との連携した取組を支援する。																													
○備考 ※2021 年度に目標値を上方修正																													

○ 地区別の取組内容

※ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関する取組は別表に記載。

地区	項目	取組内容	開始年度
温品	医療介護関係者による認知症支えあいカフェの立ち上げ支援	温品学区社会福祉協議会が介護保険事業所(有)らつくすと協働し、認知症支えあいカフェ「温品きんさいカフェ」を開設。また、立ち上げにあたり、認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2020年度
早稲田	医療介護関係者による認知症支えあいカフェの立ち上げ支援	認知症支えあいカフェ「早稲田みち草カフェ」(主催：早稲田学区社会福祉協議会)の立ち上げに当たり、認知症サポート医や認知症アドバイザーである介護支援専門員を講師とした研修会を開催。	2020年度
	地域防災プラットフォームへの医師の参加	「早稲田学区地域防災プラットフォーム」のメンバーに東区医師会から医師が参加し、災害時における医療・救護対応やトリアージ等について助言を行う。	2021年度

(別表) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に関する取組

※ 以下の高齢者の通いの場へ薬剤師を派遣し、健康教室を開催している。

地区	高齢者の通いの場 (いきいき百歳体操)	開始時期
上温品	はつらつ健康クラブ上温品 (主催：地域住民)	2020年度
戸坂城山	元気で来んさい会 数甲 (主催：数甲長寿会・町内会)	
尾長	丸山自治会百歳体操 (主催：丸山自治会)	
牛田	かうちゃんクラブ (主催：地域住民)	2021年11月
	牛田本町3丁目いきいき健康サロン (主催：牛田本町3丁目町内会)	
戸坂	ダイヤ会 (主催：ダイヤパレス牛田天水苑自治会)	2021年12月
温品 ※既実施地区	いきいき健康体操 (主催：温品学区社会福祉協議会)	
矢賀	ファミリー (主催：ファミリーマンション)	
福田	きのむね会 (主催：連合町内会)	
東浄	元気じゃけん体操 (主催：個人)	
中山	東・元気会 (主催：中山東町内会)	2022年度予定

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 2-(4)-(ウ)	具体的な取組	地域共生社会の実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	担当課	地域支えあい課																											
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組																															
事業目的・内容 公民館や集会所等で、子ども、高齢者、障害者などを対象とした多世代交流の場を設置し、茶話会や季節の行事等を定期的で開催することで、協働による相乗効果や新たな担い手の発掘など、効率的な取組に発展させる。																															
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。																															
○指標 多世代交流の場の開催地区数			○目標値の考え方 2018年は1地区（戸坂地区）の地区社協のエリアで開催しており、2019年までは年1地区（尾長地区）ずつ、2020年からは年2地区ずつ増やし、2025年度には13か所全ての地区で開催することとする。																												
○目標値と進捗状況																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>4/13 地区</td> <td>6/13 地区</td> <td>6/13 地区</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 50%; margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="4">実績進捗率算出（積み上げ式）※2019実績値</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>-</td> <td>2 ※</td> <td>=</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>-</td> <td>2 ※</td> <td>=</td> <td>4</td> </tr> </table>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	4/13 地区	6/13 地区	6/13 地区	100%	実績進捗率算出（積み上げ式）※2019実績値				6	-	2 ※	=	4	6	-	2 ※	=	4
年度	2020 実績	2021																													
		目標値	実績	進捗率																											
年度毎の 目標値	4/13 地区	6/13 地区	6/13 地区	100%																											
実績進捗率算出（積み上げ式）※2019実績値																															
6	-	2 ※	=	4																											
6	-	2 ※	=	4																											
○2021 年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症の影響で、子育てオープンスペースやいきいき百歳体操が休止となったため、地域の通いの場での障害者支援事業所の販路の拡大・住民との交流も休止した。郵便局における障害者支援事業所の自主製品の販売は、2021年4月以降も継続して実施している（広島戸坂新町郵便局：つくしんぼ作業所、グラノード広島郵便局：つくしんぼ作業所、SOAR ぎつつぎ）。 障害者支援事業所が、エキキターレのイベント（7月・11月・3月）の来場者参加賞として、焼き菓子や小物を提供した。また、自立支援協議会で調整し、11月～12月に広島ガーデンパレス朝市で障害者支援事業所の自主製品を販売した。 7月から東浄学区の介護予防拠点2か所で、つくしんぼ作業所が自主製品の販売・地域住民との交流を開始した。また、早稲田神社のウォーキング活動で、10月から4か所の障害者支援事業所が自主製品の販売を開始し、11月からは子育て中の親子の参加も始まった。1回当たり2～3組程度の参加がある。 ※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載																															
○2022 年度の目標値と取組方針等																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">8/13 地区</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流や障害者と地域住民の交流につながる活動を、さまざまな機会を通じて紹介し、地域団体や関係機関と協議を重ね、横展開を図っていく。</li> <li>・地域で活動する障害者支援事業所を知ってもらい、地域行事などでの販路の拡大・住民交流に繋げていく。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	8/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流や障害者と地域住民の交流につながる活動を、さまざまな機会を通じて紹介し、地域団体や関係機関と協議を重ね、横展開を図っていく。</li> <li>・地域で活動する障害者支援事業所を知ってもらい、地域行事などでの販路の拡大・住民交流に繋げていく。</li> </ul>																							
目標値	取組方針等																														
8/13 地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流や障害者と地域住民の交流につながる活動を、さまざまな機会を通じて紹介し、地域団体や関係機関と協議を重ね、横展開を図っていく。</li> <li>・地域で活動する障害者支援事業所を知ってもらい、地域行事などでの販路の拡大・住民交流に繋げていく。</li> </ul>																														
○取組上の課題等 障害者支援事業所の販路の拡大・住民との交流が拡大し定着している。子育てオープンスペースは新型コロナウイルス感染症の影響で休止しているが、地域団体主催のウォーキングの取組に子育て中の親子が参加できるよう調整し、PRしていく。																															
○備考																															

## (参考) 地区別の取組内容

地区	取組内容		備考
戸坂	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「くるめ木健康体操」と乳幼児健康相談に 来所した親子が交流</li> </ul>		2021 年度休止中
東浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>2か所の郵便局において、障害 者支援事業所「つくしんぼ作業 所」の自主製品の販売を実施</li> </ul>	戸坂新町郵便局 グラノード広島郵便局	2021 年度も継続実施中
尾長	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「片河クリスタル」の会場で、障害者支援 事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売</li> </ul>		2021 年度休止中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エキキターレのイベント(2020年10月開催)で主催者(広 島テレビ)が障害者支援事業所3か所(「つくしんぼ作業所」 「きつつき作業所」「はぐくみの里」)の自主製品を購入し、 参加賞として配布</li> <li>2021年7月の「エキキタおながフェスタ2021」で来場 者参加賞として、4か所の障害者支援事業所(はぐくみの里、 まごころの家 若草、きつつき共同作業所、ハートリンク) が焼き菓子や小物を詰め合わせにし、提供。11月の「エキ キターレ秋フェスタ」で来場者参加賞として、2か所の障害 者支援事業所(はぐくみの里、きつつき共同作業所)が焼き 菓子を配布。2021年3月の「エキキタキッズフェスタ」で 来場者参加賞として、3か所の障害者支援事業所(はぐくみの 里、きつつき共同作業所、つくしんぼ作業所)が焼き菓子を 配布</li> <li>2021年11月・12月の毎週土曜日に開催された「広島ガ ーデンパレス朝市」で、5か所の障害者支援事業所(はぐく みの里、まごころの家 若草、きつつき共同作業所、ハート リンク、つくしんぼ作業所)が自主製品の販売協力を実施</li> </ul>		2021 年度も継続実施中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てオープンスペース「中山子育ての集い」で、障害者支 援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売</li> </ul>		2021 年度休止中
東浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「戸坂新町いきいきサロン」「いきいき百歳 体操 in 中山台」の会場で、障害者支援事業所「つくしんぼ作 業所」が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、地域の通いの場 において高齢者と交流</li> <li>2021年7月に中山台集会所で行われた町内会主催のイベン ト「花の寄せ植え会」において、障害者支援事業所「つくし んぼ作業所」が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、障害者と 地域住民が交流</li> </ul>		2021 年 7 月から実施 (8・9月は、コロナで休止)
牛田	<ul style="list-style-type: none"> <li>「早稲田神社まで歩こう！」の地域のウォーキングの拠点にお いて、4か所の障害者支援事業所(まごころの家 若草、き つつき共同作業所、SOARきつつき、つくしんぼ作業所)が 自主製品を販売し、障害者が地域住民(高齢者や乳幼児の親 子)と交流</li> <li>2021年11月「東区牛田山ぐるっとハイキング」の参加賞 として、障害者支援事業所の自主製品を提供</li> </ul>		2021 年 10 月から実施
牛田早稲田			

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 2-(5)-(ア)	具体的な取組 元気じゃ健診を受けよう！		担当課 地域支えあい課	
まちづくりの方向性及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 区民の健康の保持増進、健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の早期発見等を目的に、元気じゃ健診（40歳～74歳の方；特定健康診査、75歳の方；健康診査）を実施しているが、受診者が少ない。このため、平成31年度から社会福祉協議会と連携し、「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、地域ぐるみで住民同士が呼び掛け合って健診受診ができるよう、モデル地区を定めて巡回健診のPRチラシ作成・配付をする等、受診率向上に向けた取組を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 特定健康診査受診率 (対象；広島市国民健康保険に加入する40歳～74歳の者)		○目標値の考え方 目標値は、「広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画【第3期：2018年度～2023年度】」の2023年度の目標値50%を基に設定している。 <参考>2019年度特定健康診査受診率：広島市 25.0%、東区 24.2%		
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	22.6% (確定値)	40%	※20.2% (3月末暫定値)	51%
※当年度の実績（受診率）について 2022年11月頃に2021年度実績（確定値）が判明する。				
○2021年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症の影響で、5月～9月に集団検診を休止した時期があったが、10月1日の集団検診再開に合わせて健診受診勧奨に関する記事をFacebookに投稿した。 8月4日に東区地域女性団体連合会と健診サポーター養成講座を開催した。10月から7地区で健診サポーター会議を開催し、会議で協議した受診率向上の取組（女性会会員による声掛けやスーパー、JA等を通じたのチラシ配布、町内会やいきいき百歳体操サロンでの広報等）を実施した。				
○2022年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
45%	① 地域団体・関係機関と連携し、各世代への効果的な受診率向上の取組を実施 ・公衛協と取組について協議するとともに、女性会と健診サポーター会議を開催し、広報等実施する。 ・保育園・幼稚園でのポスター掲示や民生委員によるこんにちは赤ちゃん事業での保護者への受診勧奨を実施する。 ・障害者支援事業所、ケアマネジャー、地域包括支援センターから利用者や通いの場参加者等へ受診の声掛けを行う。 ② 医師会と連携し、医療機関における個別健診等の実施件数アップに向けた取組を実施 ・地区担当保健師が医療機関を訪問等し、健診の積極的実施やポスター・ステッカーの掲示を依頼 ③ Facebookや広告モニターを活用し、全世代に対する受診率向上に係る啓発活動を実施			
○取組上の課題等 昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えや、集団検診の中止等の影響により受診率の向上は難しい状況にあるが、健診は健康管理において重要であることから、様々な機会を捉え、受診勧奨を行う。来年度も女性会と連携した健診サポーター会議を開催することで地域の特性に合わせた効果的な啓発活動を展開するほか、地域団体、保健・医療・介護・福祉に関わる関係者と連携して多方面から広報や受診の声掛けを行っていく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 2-(5)-(イ)	具体的な取組	野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 住民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、野菜摂取の大切さ、栄養バランスを意識した食事について理解を深めることを目的として、健康教室の開催、個別相談等を行っている。平成 26 年度からは区役所食堂において、健康に関する情報の発信、健康相談（月 1 回）、「元気じゃけん定食」の提供支援（月 2 回）等を通じた啓発を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 地元野菜を活用したレシピの数			○目標値の考え方 すこやか食生活推進リーダー※1 及び食生活改善推進員※2 と連携し、毎年、夏野菜と冬野菜を使ったレシピを 1 品ずつ計 2 品を開発する。 ※1 地域で健康増進・栄養改善活動を行う本市登録の管理栄養士又は栄養士 ※2 本市実施の食生活改善推進員養成講座を修了し登録したボランティア	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2 品	2 品/年	2 品/年	100%
○2021 年度の取組内容等 若い世代が取り入れやすいよう、「身近な食材を使い簡単な手順でできる」レシピを 2 品作成した。作成したレシピは、「おもてなしの区推進プロジェクト会議（※）」において、映像を用いた効果的な啓発方法について検討し、2022 年度、区役所待合ロビーのモニター広告で動画配信する予定としている。 これまでに作成したレシピは、Facebook や子育て応援アプリで情報提供するとともに、区役所職員食堂の他、区役所 1 階展示コーナーや二葉公民館においても配布することで来所者への啓発を実施した。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2 品/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンビニ商品や身近な食材を使い簡単な手順でできるレシピを考案する。</li> <li>• レシピを Facebook や子育て応援アプリ、地域包括支援センターだより等で情報提供する。</li> <li>• 大学生の協力を得ながら野菜摂取を促す動画（地元野菜のレシピ紹介も含む。）を制作し、乳幼児健診や区役所の待合ロビーで放映することで効果的な啓発活動を行う。</li> </ul>			
○取組上の課題等 実演や試食を取り入れた体験型の教室を通して家庭での実践につなげていきたいが、教室の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて判断する必要がある。若い世代への情報発信について、より効果的な方法を検討する。				
○備考 （※）東区役所の若手職員が構成員となり、来庁する区民等に東区の魅力を感じてもらえるよう、東区役所の環境整備や効果的な情報発信等について企画提案を行う会議				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 2-(5)-(ウ)	具体的 な取組	東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！	担当課	地域支えあい課	
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防					
事業目的・内容 区民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、健康ウォーキングに取り組むきっかけづくりを目的に、平成18年度から各地区公民館等で健康ウォーキング教室を開催し、ウォーキングの普及啓発に取り組んでいる。平成19年度からは、年1回各地区のウォーキングコースを活用した「健康ウォーキングのつどい」を東区公衆衛生推進協議会及び、東区スポーツセンターと共催で開催していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年度以降中止となっている。一方、コロナ禍に生まれた活動として、社会福祉協議会や体育協会主催の週1回自宅から神社や寺まで歩く取組が開始し、健康づくりや介護予防に効果的な活動へと発展している。					
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。					
※2021 年度に指標②追加 ○指標① 「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合 指標② 週1回程度ウォーキング活動をする地区数			○目標値の考え方 指標①：2018年度、2019年度の60歳未満参加者割合（アンケート回答者より算出）は、それぞれ3%、6%であった。2020年度は、10%以上、2022年度は15%以上、2025年度は20%以上とする。 指標②：2021年実績が4地区のため、毎年度3地区増やし、2025年度には13地区全ての地区で実施することとする。ウォーキング活動とは、地域団体が実施主体となり、概ね地(学)区単位での活動を計上する。		
○目標値と進捗状況					
		2020 実績	2021		
			目標値	実績	進捗率
年度毎 の 目標値	指標 ①	— 【中止】	10% 以上	— 【中止】	—
	指標 ②	—	4地区	4地区	100%
○2021 年度の取組内容等 2021年度の「健康ウォーキングのつどい」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止した。コロナ禍でも地域でできる活動として、週1回、自宅から社会福祉協議会の拠点（お寺）や神社にそれぞれが歩いてきて帰るという取組が広がっており、温品、牛田、早稲田、戸坂地区で実施している。 また、12月には、東区スポーツセンターと共催し、健康ウォーキング講座を開催した。					
○2022 年度の目標値と取組方針等					
目標値		取組方針等			
指標① 15%以上		健康ウォーキングのつどいについて、関係団体と今後の方向性等について検討する。			
指標② 7地区		温品、牛田、早稲田、戸坂以外の3地区において、地（学）区単位の団体に働き掛け、週1回ウォーキング活動ができる場を増やす。			
○取組上の課題等 地域団体主催の週1回実施するウォーキング活動は、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない。また、開催頻度も高く、多くの区民に健康ウォーキングの普及が図られ、健康づくりや介護予防に効果的であるため、指標を追加し、週1回ウォーキング活動をする地区数の増加を目指す。					
○備考					

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(1)-(ア) 4-(1)-(ウ)	具体的 な取組	「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課															
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																			
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道（不動院～二葉の里～矢賀一里塚。昭和 58 年指定）は、国宝「不動院金堂」をはじめ、重要文化財等が集積した歴史文化的価値の高い散歩道である。平成 21 年 3 月から、散歩道を活用して東区の魅力発信を図る目的で、「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協働し、「ふたばの日」（毎月 28 日）に定期ガイド等を実施している。																			
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																			
○指標 ※2021 年度指標修正 「ふたばの日」及び「いつでもガイド」の年間参加者数			○目標値の考え方 2018 年度実績が 815 人であったため、2020 年度目標を 830 人とし、季節ごとに開催を予定している特別ガイド等の内容充実と、幅広い世代へ届けるための広報手段の工夫により、毎年度 1% ずつ参加者を増やす。																
○目標値と進捗状況																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>0 人</td> <td>838 人</td> <td>91 人</td> <td>11%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">ふたばの日 13 人</td> <td style="padding: 2px;">いつでもガイド 78 人</td> </tr> </table> </div>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	0 人	838 人	91 人	11%	ふたばの日 13 人	いつでもガイド 78 人
年度	2020 実績	2021																	
		目標値	実績	進捗率															
年度毎の 目標値	0 人	838 人	91 人	11%															
ふたばの日 13 人	いつでもガイド 78 人																		
○2021 年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、予約なしで不特定多数の方が参加する「ふたばの日」（毎月 28 日）の定期ガイドを 2 月まで中止とした。3 月 28 日は、感染症対策の自己申告チェックリストを提出すること等の対応をした上で実施した。 また、事前予約制の「いつでもガイド」は、緊急事態宣言等の期間以外に、12 回実施し、参加者は 78 人であった。																			
○2022 年度の目標値と取組方針等																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">847 人</td> <td>新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、「ふたばの日」及び「いつでもガイド」を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	847 人	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、「ふたばの日」及び「いつでもガイド」を実施する。											
目標値	取組方針等																		
847 人	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、「ふたばの日」及び「いつでもガイド」を実施する。																		
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症対策の自己申告チェックリストを提出すること等の対応をした上で、引き続き、「ふたばの日」を実施する。																			
○備考																			

## アクションプラン 検証シート (2021 年度実績)

項目番号 3-(1)-(イ) 4-(1)-(エ)	具体的な取組	「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯籠や参道に「平和の灯」から採火した約千本のろうそくを灯し、平和の夕べを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念するとともに、エキキタをアピールするため、平成24年度から、七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、関係団体及び区役所で組織する実行委員会が中心となり、毎年8月5日に実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 イベントの来訪者数			○目標値の考え方 2019年度実績が1,900人であったため、2020年度目標を2,000人とし、毎年度50人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>— 【中止】</td> <td>2,050人</td> <td>— 【中止】</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	— 【中止】	2,050人	— 【中止】	—
年度	2020 実績	2021															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	— 【中止】	2,050人	— 【中止】	—													
○2021年度の取組内容等 2020年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、実行委員会として「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の中止を決定した。																	
○2022年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,100人</td> <td>原爆によって亡くなられた人々への慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、規模を縮小して開催する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2,100人	原爆によって亡くなられた人々への慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、規模を縮小して開催する。									
目標値	取組方針等																
2,100人	原爆によって亡くなられた人々への慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、規模を縮小して開催する。																
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、開催に向けた協議を行う。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(2)-(ア)	具体的な取組	自然観察の楽しさを広めよう！	担当課	地域起こし推進課			
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進							
事業目的・内容 東区の自然に恵まれた特性や地域資源を生かし、緑や水に親しむ機会を創出することを目的として、平成12年5月から「東区緑のボランティアの会」と区役所が協働し、東区の豊かな自然とふれあう自然観察会を実施している。							
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。							
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018・2019年度は災害等により一部の観察会が中止となったため、2017年度の実績である5回198人（1回あたり平均約40人）を基準とし、1回あたり50人、5回で250人を目標とする。				
○目標値と進捗状況							
年度	2020 実績	2021					
		目標値	実績	進捗率			
年度毎の 目標値	59人	210人	26人	12%			
○2021年度の取組内容等							
時期・ 内容等	4月 春の 自然観察会	6月 モリアオガエル	8月 水辺 ふれあい	10月 シリブカガシ	11月 秋の 自然観察会	牛田山 ぐるっと ハイキング	
参加者数	中止	中止	中止	中止	9人	中止	17人
新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施していた自然観察会（4月～11月）を中止した。 10月の3公民館合同の自然観察イベントは、感染症対策を行った上で実施した。 また、11月の「牛田山ぐるっとハイキング」では、支援スタッフとして、牛田公園から見立山に登る「らくらくファミリーコース」の参加者17人を引率した。							
○2022年度の目標値と取組方針等							
目標値	取組方針等						
220人	例年行ってきたイベントに加えて、他団体との合同イベントを行っていく。						
○取組上の課題等 年々「東区緑のボランティアの会」の会員の人数が減少し、年齢層が上がっていることから、会員の負担軽減となるよう、他団体との合同イベントの実施も検討する。また、引き続き新規会員募集の広報を行う。							
○備考							

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(2)-(イ)	具体的な取組	都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進																	
事業目的・内容 都心近くには珍しい、複数の山を縦走することができる全長約5kmの牛田山ハイキングコースの認知度を高め、その利用者数を増やすことを目的に、平成 25 年度から毎年 11 月に、地元の学区体育協会と区役所、公民館、東区スポーツセンターが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」を開催し、ハイキングコースの魅力を区内外に広くアピールしている。																	
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。																	
○指標 牛田山ハイキング参加者数			○目標値の考え方 2019 年度は、悪天候のため参加者数が 123 人ととどまったため、2018 年度実績である 177 人を基準とし、運営スタッフの人数に制限もあることから、最大 200 人を目標値として設定する。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>0 人</td> <td>184 人</td> <td>151 人</td> <td>82%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	0 人	184 人	151 人	82%
年度	2020 実績	2021															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	0 人	184 人	151 人	82%													
○2021 年度の取組内容等 各学区体育協会や東区スポーツセンター、各公民館等と、新型コロナウイルス感染対策を踏まえた「牛田山ぐるっとハイキング」の実施方法について協議し、コースの削減（6→3）、少人数グループの編成、出発時間の分散等の対策を行った上で、グループ登山イベントを実施した。また、2週間の自由参加期間（いつでも登山ウィーク）を新たに設けた。 その結果、グループ登山イベントでは 68 人、いつでも登山ウィークでは 83 人の参加があった。																	
○2022 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">188 人</td> <td>・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で「牛田山ぐるっとハイキング」を実施し、併せて、いつでも登山ウィークも引き続き実施する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	188 人	・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で「牛田山ぐるっとハイキング」を実施し、併せて、いつでも登山ウィークも引き続き実施する。									
目標値	取組方針等																
188 人	・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で「牛田山ぐるっとハイキング」を実施し、併せて、いつでも登山ウィークも引き続き実施する。																
○取組上の課題等 グループ登山イベントでは、初心者や子どものいる家族向けの「らくらくファミリーコース」の参加者が最も少なかったことから（17 人/定員 30 人）、若年層に向けてのイベント広報をより積極的に行う。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(2)-(ウ)	具体的な取組	地域主催のハイキングイベントを増やそう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進				
事業目的・内容 東区には、都心の近くで自然に親しむことのできるハイキングコースが多数存在する。これらのハイキングコースの利用を促進し、自然とのふれあいの機会を創出することを目的として、令和2年度から新たに地域主催のハイキングイベントの実施を支援する。				
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。				
○指標 ハイキングイベントの新規実施件数			○目標値の考え方 2019年度は、上温品学区体育協会が町民ハイキングを、福田公民館と馬木公民館、戸坂公民館が地域団体と連携してハイキングイベントを実施している。2020年度からも、学区体育協会や公民館等との連携を図りながら、尾長山・大内越山・高尾山の3つの山で、新たにハイキングイベントを実施する。	
○目標値と進捗状況				
	2020 実績	2021		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1件/年	1件/年	1件/年	100%
○2021年度の取組内容等				
二葉公民館【新規】	尾長山	「東区牛田山ぐるっとハイキング」で取り入れた「いつでも登山ウィーク」のように一定期間中に個人で参加できる方法で開催し、10人の参加があった。(3月12日～21日) 実施方法についての事前協議や Facebook での情報発信等を通して支援した。		
○2022年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
1件/年	各公民館や「東区緑のボランティアの会」と協議しながら、未実施の大内越山での新規イベントを実施する。			
○取組上の課題等 各公民館やハイキングのスタッフ経験がある「東区緑のボランティアの会」等と連携して、新規実施の支援をしていく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(3) 4-(1)-(オ)	具体的な 取組	「魅力と活力向上推進事業補助金」	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (3) 地域資源を生かした住民主体の活動の推進				
事業目的・内容 平成11年度から、地域特性を生かした個性豊かで魅力あるまちづくりを推進することを目的として、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動に補助金を交付している。				
○課題と対応 東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019年度までの過去7か年の新規申請件数が平均3.1件、2019年度新規申請件数が4件であることを踏まえ、今後も、毎年度4件以上の新規申請件数を目指す。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2件 /年	4件以上 /年	2件 /年	50%
○2021年度の実績等 1次募集での新規申請は1件であったため、2次募集で「市民と市政」（7月1日号）での広報、公民館や各地区社会福祉協議会に募集要項を送付して周知した結果、新規申請が1件あり、今年度の実績は2件となった。				
団体名（補助額）	事業内容			
かかし祭り実行委員会 (9万8千円) ※	広島市森林公園を活用して、かかし祭り（オリジナルかかしの制作・展示・人気投票・表彰、ステージ発表、マルシェ）を開催し、世代間交流の促進と地域のにぎわいづくりにつなげる。			
一般社団法人 My Japan (100万円)	東区の一葉山の山道整備や、シリブカガシなどの自然資源を活用したワークショップ等を行い、東区の魅力を向上させる。			
※新型コロナウイルス感染症の影響により、補助事業を中止し、規模を縮小して自主事業として実施した。				
○2022年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4件以上 /年	「市民と市政」やFacebookを通じて既存団体の活動を広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。			
○取組上の課題等 引き続き地区社会福祉協議会や団体長に向けてのチラシや案内の送付や、「市民と市政」、公民館だよりに紹介記事を掲載するなどして、新規申請の掘り起こしを行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(4)-(ア)	具体的 な取組	健康づくりに取り組む若者を育てよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり				
事業目的・内容 若い世代に対する健康づくり・健全な食生活の実践等に関する普及啓発を目的として、平成 22 年度から大学との包括的な連携のもと、大学祭で健康展（朝食・野菜摂取に関する展示、レシピ紹介等）を開催している。				
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。				
○指標 健康展の出展回数			○目標値の考え方 これまで広島女学院大学、比治山大学を隔年で実施していた。2020 年度からは両大学の大学祭において健康展を出展するため、年 2 回とした。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1 回/年	2 回/年	1 回/年	50%
○2021 年度の取組内容等 健康展の出店を予定していた大学祭について、比治山大学は縮小、広島女学院大学は中止となったため、大学での健康展は実施できなかった。 そのため、広島女学院大学管理栄養学科の学生と「朝食及び野菜の摂取」をテーマとした啓発資料を作成し、同大学と共催で開催したがん講演会において、学生及び教員計 300 名に配布することで健康展実施の代替えとした。講演会では、地元野菜を活用した東区の野菜レシピも配布し、若い世代の健康づくりの啓発につなげた。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2 回/年	新型コロナウイルス感染症の影響により大学祭の開催の有無及び開催方法が未定であるが、健康展が中止となった場合についても、大学と協議した上で若い世代への啓発方法を検討していく。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、健康展を実施する学園祭が中止・縮小化する可能性があることを前提に、対応について大学との協議を早期に行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(4)-(イ)	具体的な取組	命の大切さや思いやりの心を育もう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3.地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 大学生が乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやり心を育むことを目的に、常設子育てオープンスペースにおいて、大学生と親子がふれあい、交流できるイベントを実施する。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催件数			○目標値の考え方 年1回、継続的に開催する。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%
年度	2020 実績	2021															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%													
○2021 年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、常設オープンスペースは休止していた期間もあったが、開設していた 12 月 22 日に、感染対策を講じながら対面で「大学生とあそぼ」を実施した。参加者は 25 人（子ども 13 人、大人 12 人）であり、子どもの反応に合わせて指遊びやパネルシアターを実施でき大変好評であった。																	
○2022 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1回/年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら、可能な限り対面で実施する。</li> <li>・対面実施が困難な場合は、相互にコミュニケーションが取れる方法でオンライン実施する。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	1回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら、可能な限り対面で実施する。</li> <li>・対面実施が困難な場合は、相互にコミュニケーションが取れる方法でオンライン実施する。</li> </ul>									
目標値	取組方針等																
1回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら、可能な限り対面で実施する。</li> <li>・対面実施が困難な場合は、相互にコミュニケーションが取れる方法でオンライン実施する。</li> </ul>																
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、対面実施が困難な場合はオンラインでの実施とする。オンラインで実施する場合は、相互にコミュニケーションが取れる方法とする。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2021 年度実績)

項目番号 3-(5)-(ア)	具 体的 な取組	地元のトップアスリートを応援しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 東区を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ」を応援することを通じて、区民がスポーツに親しむことを目的として、平成 28 年度から年 1 回、東区応援団を結成して試合の応援を行うとともに、区役所ロビーでの応援パネル展を行っている。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 東区応援団への参加者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 90 人であったため、2020 年度目標を 100 人とし、学区体育協会など各種団体への働き掛けにより、毎年度 10 人ずつ参加者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	— 【中止】	110 人	— 【中止】	—
○2021 年度 of 取組内容等				
実施時期	応援状況			
6 月	イズミメイプルレッズの選手の東京オリンピック選出を Facebook で紹介			
8 月	地元開幕戦にあわせて Facebook で応援を呼び掛け			
10 月	「市民と市政」(10 月 1 日号) でチーム・試合情報を紹介			
	区役所ロビー展第 1 弾 (10/1~11/4)			
1 月	区役所ロビー展第 2 弾、応援メッセージ募集 (1/17~2/2)			
2 月	東区スポーツセンター及び学区体育協会の協力のもと、集まった応援メッセージをチームへ届けた。その様子を Facebook で報告し、応援を呼び掛けた (2/4)			
2 月 5 日のホーム戦で東区応援団の結成を検討したが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、中止することとした。				
○2022 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
120 人	東区スポーツセンターや学区体育協会との協議、連携を図りながら、東区応援団を結成して試合観戦する。応援団を結成できない場合についても、応援メッセージ企画のような応援方法を検討する。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症対策を行った上での応援方法について、イズミメイプルレッズや東区スポーツセンター、学区体育協会と協議する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(5)-(イ)	具体的な取組	高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 区民の生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を支援することを目的として、学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会、東区スポーツセンター等が協働して年3回（5月、10月、12月）、区内の小中学生や地域住民を対象にニュースポーツを体験するイベントを開催している。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数			○目標値の考え方 2019年度まで毎年3回継続開催しており、2020年以降も毎年3回継続して実施する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	0回	3回	1回	33%
○2021年度の取組内容等 ニュースポーツを体験する東区スポーツセンター主催イベントの状況				
イベント名	実施時期	状況（新型コロナウイルス感染症の影響）		
ひがしくスポーツセンターまつり	中止	2月に開催予定であったが、中止		
エンジョイ！スポーツ祭(スポーツの日)	中止	10月に開催予定であったが、中止		
ニュースポーツ交流会	12月	12月19日にトランポリンやだるま落としなどの3密を避けたスポーツに変更して開催した。		
○2022年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区スポーツセンターや学区体育協会と連携し、イベントを安全に開催するための工夫を協議していく。</li> <li>・イベントの広報活動の支援を行う。</li> </ul>			
○取組上の課題等 「ひがしくスポーツセンターまつり」と「エンジョイ！スポーツ祭」は不特定多数の参加が見込まれるため、事前予約等の参加者情報の把握や人数制限等の実施方法について検討する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 3-(6) 4-(2)	具体的な取組	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (6) 都心に近い農業地域の活力向上				
事業目的・内容 東区の新鮮な野菜等の特産品を販売するイベントを開催することにより、農業の振興と、来訪者と区民や区民相互の交流を促進することを目的に、平成16年8月から、毎週木曜日に東区民文化センターにおいて「木曜であい市」を開催している。				
○課題と対応 「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。				
○指標 年間来場者数			○目標値の考え方 2018年度までの過去3年間で1回の来場者が103人から80人に減少しているため、2020年度の目標を4,000人(1回80人×年50週)と設定し、毎年50人ずつ(毎回1人ずつ)来場者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
		2021		
年度	2020 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	0人	4,050人	365人	9%
○2021年度の取組内容等 「緊急事態宣言」の発令や「まん延防止等重点措置」等の適用などにより、開催できない期間を除き、感染対策として、来場者の事前予約(30人)や販売会場への人数制限(10人)を行った上で、6回開催し、合計で365人の来場があった。  (参考) 木曜であい市開催状況				
		開催回数	来場者数	
区 分				
第1 四半期	2回	78人		
第2 四半期	0回	0人		
第3 四半期	4回	287人		
第4 四半期	0回	0人		
計	6回	365人		
○2022年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4,100人	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、「木曜であい市」を開催する。			
○取組上の課題等 感染拡大防止を図りながら、段階的に人数制限を緩和し、来場者の増加に取り組む。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号	具体的な取組	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課																													
3-(7)																																	
<p>まちづくりのテーマ及び項目</p> <p style="margin-left: 20px;">3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり</p> <p style="margin-left: 40px;">(7) 地域の魅力の継承</p>																																	
<p>事業目的・内容</p> <p>東区では、地域の魅力を子どもたちに伝えていくため、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会【以下、歴史】（牛田小学校、尾長小学校）、東区緑のボランティアの会【以下、緑ボラ】（尾長小学校）、東区ふれあいもてなし市協議会【以下、農家】（矢賀小学校）の3者が講師となり、地域の歴史や自然、農業などの学習を支援している。</p>																																	
<p>○課題と対応</p> <p>子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。</p>																																	
<p>○指標</p> <p>3者が学習支援を実施する学校等の数</p>			<p>○目標値の考え方</p> <p>2019年度は3者が4校で学習支援を行っており、2025年度に3者が各1校ずつ増やし7校にすることし、2年ごとに1校ずつ増やすことを目標とする。</p>																														
<p>○目標値と進捗状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の目標値</td> <td>3校/年</td> <td>5校/年</td> <td>5校/年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の目標値	3校/年	5校/年	5校/年	100%																
年度	2020 実績	2021																															
		目標値	実績	進捗率																													
年度毎の目標値	3校/年	5校/年	5校/年	100%																													
<p>○2021年度の取組内容等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">団体・学習支援実施校</th> <th>学習支援内容</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">農家</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">①矢賀小学校（2年）</td> <td>「矢賀うり」植付指導</td> <td style="text-align: center;">6月15日実施</td> </tr> <tr> <td>「矢賀ちしゃ」植付指導</td> <td style="text-align: center;">11月24日実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②あけぼの保育園</td> <td>「矢賀ちしゃ」植付指導</td> <td style="text-align: center;">11月29日実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">歴史</td> <td style="text-align: center;">③尾長小学校（6年）</td> <td>ウォークラリー（七社寺）でのガイド</td> <td style="text-align: center;">7月6日実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">④牛田小学校（3年）</td> <td>校内授業で見立山・工兵橋など地域の歴史ガイド</td> <td style="text-align: center;">10月6日実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">⑤広島女学院大学</td> <td>城下町広島の歴史講座</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>七福神コースのガイド</td> <td style="text-align: center;">11月20日実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">緑ボラ</td> <td style="text-align: center;">尾長小学校（5年）</td> <td>尾長山・二葉山でのガイド</td> <td style="text-align: center;">中止</td> </tr> </tbody> </table>					団体・学習支援実施校		学習支援内容	実施時期	農家	①矢賀小学校（2年）	「矢賀うり」植付指導	6月15日実施	「矢賀ちしゃ」植付指導	11月24日実施	②あけぼの保育園	「矢賀ちしゃ」植付指導	11月29日実施	歴史	③尾長小学校（6年）	ウォークラリー（七社寺）でのガイド	7月6日実施	④牛田小学校（3年）	校内授業で見立山・工兵橋など地域の歴史ガイド	10月6日実施	⑤広島女学院大学	城下町広島の歴史講座	中止	七福神コースのガイド	11月20日実施	緑ボラ	尾長小学校（5年）	尾長山・二葉山でのガイド	中止
団体・学習支援実施校		学習支援内容	実施時期																														
農家	①矢賀小学校（2年）	「矢賀うり」植付指導	6月15日実施																														
		「矢賀ちしゃ」植付指導	11月24日実施																														
	②あけぼの保育園	「矢賀ちしゃ」植付指導	11月29日実施																														
歴史	③尾長小学校（6年）	ウォークラリー（七社寺）でのガイド	7月6日実施																														
	④牛田小学校（3年）	校内授業で見立山・工兵橋など地域の歴史ガイド	10月6日実施																														
	⑤広島女学院大学	城下町広島の歴史講座	中止																														
七福神コースのガイド		11月20日実施																															
緑ボラ	尾長小学校（5年）	尾長山・二葉山でのガイド	中止																														
<p>○2022年度の目標値と取組方針等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5校/年</td> <td>新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、上記の小学校等への学習支援に加え、新たな学習支援校を増やす。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	5校/年	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、上記の小学校等への学習支援に加え、新たな学習支援校を増やす。																									
目標値	取組方針等																																
5校/年	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、上記の小学校等への学習支援に加え、新たな学習支援校を増やす。																																
<p>○取組上の課題等</p> <p>学校側のスケジュール確保や支援内容の周知が必要であることから、小学校長会での情報提供を行う。</p>																																	
<p>○備考</p>																																	

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

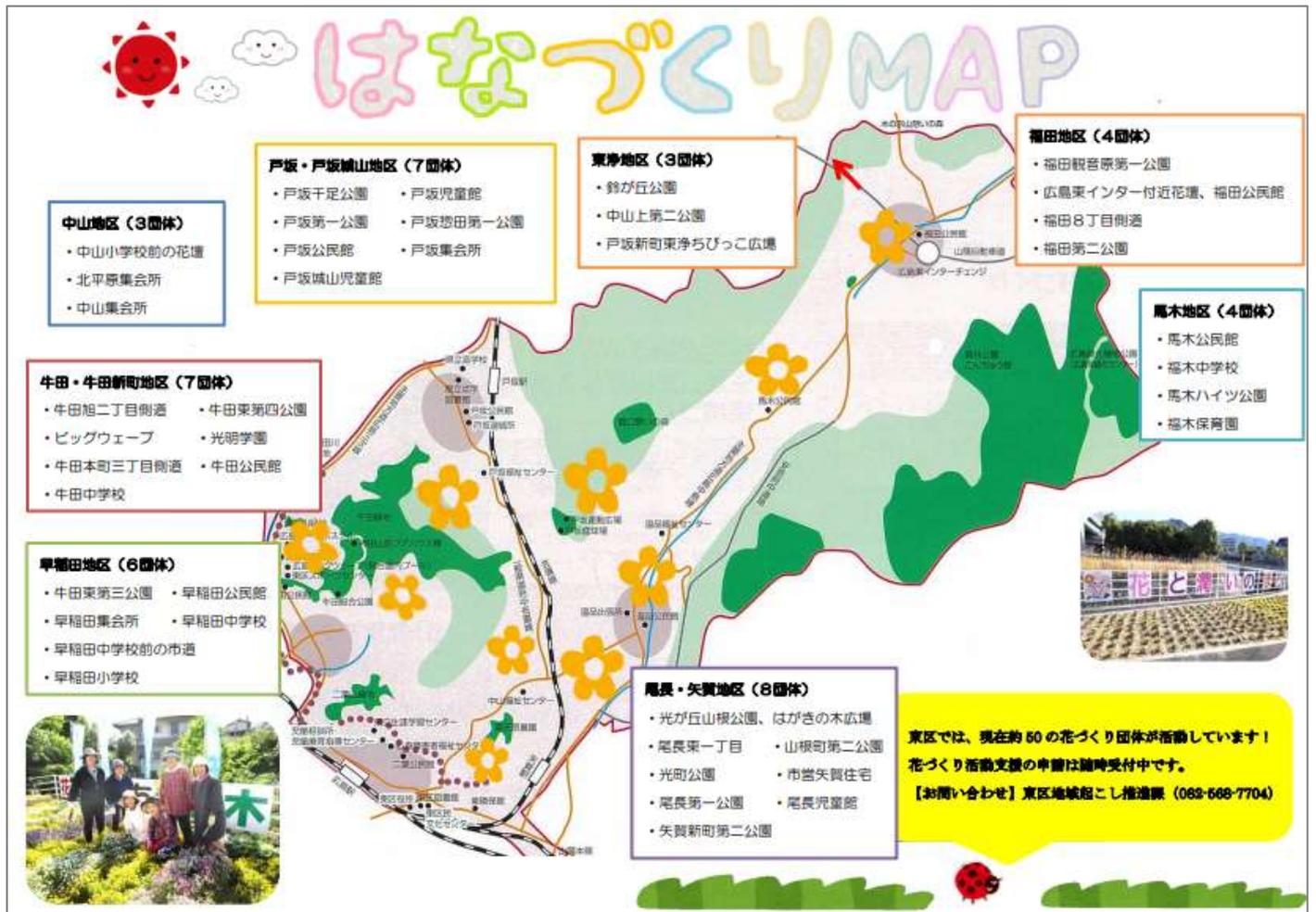
項目番号 4-(1)-(ア)	具体的 な取組	「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり																	
事業目的・内容 JR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）では、地元企業や住民団体、東区役所によって、平成27年に「エキキタまちづくり会議」が設立され、その後、様々な取組を継続して実施している。 平成31年3月には、広島市が創設した「エリアマネジメント活動計画認定制度」の第1号として「エキキタエリアマネジメント活動計画」が認定された。これにより、エキキターレ（有効空地）及び二葉の里第三公園（街区公園）における規制緩和が認められたことから、これらを活用して自主財源を確保しながら、産官学民の協働・連携により、エキキタが一体となった持続可能なまちづくりを進めている。																	
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。																	
○指標 イベント等でのエキキターレの利用日数			○目標値の考え方 2019年度の利用実績30日を踏まえ、2025年度には、100日の利用（年間を通して週末にはイベント等が行われている状況）を目指し、利用日数を増やす。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2020 実績</th> <th colspan="3">2021</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>6日 /年</td> <td>40日 /年</td> <td>17日 /年</td> <td>43%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2020 実績	2021			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	6日 /年	40日 /年	17日 /年	43%
年度	2020 実績	2021															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	6日 /年	40日 /年	17日 /年	43%													
○2021年度の取組内容等 エキキタ・おながフェスタ（7月）、あんばんパーク（10月）の開催など、年間を通して17日の利用があった。 エキキタまちづくり会議が、2020年度に元気なまちづくりプロジェクト補助金（※）を活用して購入したイベント機材（おしゃれなテーブルセット、ワンタッチ式マルシェテント等）のレンタルを開始して、イベントを行いやすい環境整備を行った。  (※) 新型コロナウイルスの影響に負けず、地域活性化に向けて取り組む地域団体等を支援するため、2020年度に設けられた補助制度																	
○2022年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">55日/年</td> <td>イベント開催時の広報を行い、エキキターレ及び安価なイベント機材レンタルの更なる周知を図り、利用増加につなげる。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	55日/年	イベント開催時の広報を行い、エキキターレ及び安価なイベント機材レンタルの更なる周知を図り、利用増加につなげる。									
目標値	取組方針等																
55日/年	イベント開催時の広報を行い、エキキターレ及び安価なイベント機材レンタルの更なる周知を図り、利用増加につなげる。																
○取組上の課題等 エキキターレでのイベント実施について多くの方に知ってもらい、利用者増加につなげられるよう、イベント開催時の広報を継続的に行う。																	
○備考 移動販売車利用実績：163日																	

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 4-(1)-(イ)	具体的な取組	「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口である JR 広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり				
事業目的・内容 広島の新たな観光スポットとして、多くの方々にエキキタに足を運んでいただき、賑わいの創出を図ることを目的として、平成28年度から、「エキキタ・イルミネーション」として周辺企業・店舗と協働でイルミネーションイベントを実施している。平成30年度からは、「ひろしまドリミネーション」のサテライトエリアとして広島駅周辺地区まちづくり協議会とも連携し、「エキキタ・ドリミネーション」として開催し、周辺地域一体となった魅力発信を行っている。				
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。				
○指標 参加企業・店舗数			○目標値の考え方 2018 年度に 23 企業・店舗、2019 年度に 20 企業・店舗の参加実績があり、2025 年度の 30 企業・店舗を目標として、毎年、新規参加店舗・企業を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2020 実績	2021		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	25 企業・ 店舗	26 企業・ 店舗	26 企業・ 店舗	100%
○2021 年度の実績内容等 ・3 団体（広島東警察署、株式会社フリート、Lotta cafe&dining）の新規参加があり、26 企業の参加となった（既存 2 団体が参加を辞退した）。				
○2022 年度の目標値と取組方針				
目標値	取組方針			
27 企業・ 店舗	エキキターレの北側や西側にイルミネーションが繋がっていくように、周辺企業への働き掛けを重点的に行う。			
○取組上の課題等 エキキターレの北側や西側にイルミネーションが繋がっていくように、周辺企業への働き掛けを重点的に行う。また、収支を均衡させ持続可能な取組とするために、引き続き協賛金の確保に努める。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2021 年度実績）

項目番号 4-(3)	具体的な取組	東区を花でいっぱいにしてしよう！	担当課	地域起こし推進課																				
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (3) 公共空間（公園等）を活用した花づくり																								
事業目的・内容 東区を花でいっぱいの潤いのあるまちにしていくことを目的に、平成 25 年度から 3 人以上で構成する花づくり団体へ、花づくりに必要な物品を提供し、安定して活動が継続できるよう支援している。																								
○課題と対応 花づくりを行える公園等の公共用地で、まだ活用されていない場所が見受けられるため、支援制度の広報に力を入れ、活動を充実・強化する。																								
○指標 花づくり活動団体数		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td colspan="5">実績進捗率算出（積み上げ式）</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">47</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">40 ※</td><td style="text-align: center;">=</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">43</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">40 ※</td><td style="text-align: center;">=</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> <tr><td colspan="5">※2019 実績値</td></tr> </table>	実績進捗率算出（積み上げ式）					47	-	40 ※	=	7	43	-	40 ※	=	3	※2019 実績値					○目標値の考え方 2019 年度実績が 40 団体であるため、2020 年度目標を 42 団体とし毎年 1～2 団体の増加を目指す。	
実績進捗率算出（積み上げ式）																								
47	-	40 ※	=	7																				
43	-	40 ※	=	3																				
※2019 実績値																								
○目標値と進捗状況																								
年度	2020 実績	2021																						
		目標値	実績	進捗率																				
年度毎の 目標値	45 団体	43 団体	47 団体	233%																				
○2021 年度の取組内容等 ・下記の 3 団体から新たに申請があり、既存の 1 団体から活動中止の申し出があったため、花づくり活動団体は、合計 47 団体となった。																								
団体名称		活動場所																						
惣田グランドゴルフ同好会		戸坂惣田第一公園																						
牛田公民館 花のボランティア		牛田公民館																						
やまびこ五一花同好会		戸坂新町東浄ちびっこ広場																						
・6 月と 11 月に、「花いっぱいのキャンパス in ふたば・花咲会」の協力を得て区役所の花壇の植え替えを行い、その様子を Facebook で広報し、併せて本事業の紹介を行った。																								
○2022 年度の目標値と取組方針等																								
目標値	取組方針等																							
45 団体	・既存団体にチラシ等の案内を提供し、花づくり活動がされてない公園の周辺の知人の方などに本事業の紹介をしてもらうように依頼する。																							
○取組上の課題等 区役所花壇での植替え活動報告や、花づくり団体の活動報告書を利用した広報を継続して制度の周知を図る。																								
○備考																								



地区別の花づくり活動団体数

地区	2020年度 まで	2021年度	計
福田	4	-	4
馬木	4	-	4
温品	4	-	4
上温品	1	-	1
戸坂	6	+1 ▲1	6
戸坂城山	1	-	1
東浄	2	+1	3
牛田新町	2	+1	3
牛田	4	-	4
早稲田	6	-	6
中山	3	-	3
尾長	6	-	6
矢賀	2	-	2
計	45	+2	47